

企業見学:株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ

2023年11月16日 青山迎賓会館にて

コロナ禍明けで3年越しに実現した見学会でした。2007年から障害者雇用を始め、最近では毎年1名を採用されてきました。直近3年はコロナ禍の影響もあり、雇用は0名だそうで、現在30名(※1)の障害者が勤務されています。

主な仕事は清掃で特性に合わせて覚えやすいように、構造化されており、安心して勤務できる環境作りがなされていました。床清掃では、マグネットの印を用いり清掃漏れが無いよう工夫がされていました。

しかし清掃勤務は、週に1度5名程と伺い、それ以外は拠点である千駄ヶ谷の事務所にて座学を受けていると伺い、若干物足りないように感じました(※2)。サポート人員の不足により現状は厳しいようですが、今後は清掃勤務も増やしていきたいと仰っていました。(明正小 蜂谷)



※1 様々な障害の種別や程度の方が働いています。全体では約80%、知的障害においては約90%が重度障害のスタッフです。

※2 コロナ前は数か所で行われていた清掃業務が、青山迎賓館のみで再開されたところでした(コロナ禍では在宅勤務)。また清掃チームは、サポートスタッフ1人に障害者スタッフ4人程で1つのチームを作って作業されています。ピカピカになるので人気があります、とはガイダンス説明者の談。

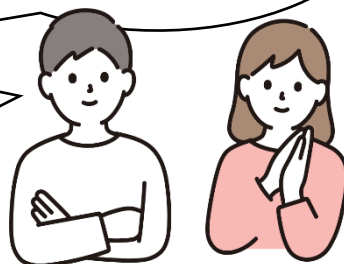
出社後まずは体調チェック
→障害者スタッフが発熱やケガをしていても出勤してくるから!?

通勤を時にはこっそり見守り
→通勤客と揉めそうな行動があれば話しをして直すそう。通勤トラブルもなし

社員研修が海外の場合、
障害者スタッフは・・・
社員だから当然行きます！
成田までの行き方も猛練習

勤続年数は6~7割の方が10年超

結婚式場の清掃業務ですが、障害者スタッフは意外にも全員男性です。でも自社でホテルやケーキなどの業務もお持ちの為、新しい事業での展開も検討中とのこと、女性の障害者雇用も今後進むかも!?



<担当役員コメント>



通常10名が上限のところ16名で見学を快諾。ガイダンスと見学を半々で交互に行い、現場見学は少人数の4人ごとサポートスタッフがついて清掃現場を近くで見ながらゆっくり話しを伺いました。あえて軽度ではなく知的障害の重度の方を採用したり、重度でフルタイム勤務なので不思議に思っていたのですが、実際に見学して解りました。障害者本人が会社や仕事を好きすぎる位になる程、社員として尊重し、“個人”理解をするために相当な時間をかけられていました。またそれが「僕が楽しそうでいつもびっくりされます。」と中堅のサポートスタッフが笑って言う通りで、人の心を豊かにする企業理念の障害者雇用は本当に幸福感あふれる現場でした。(役員 山田)

【T&G × Sustainability】
Vol.05 障がい者雇用編
(ホームページより)

